

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式											
E142N020		英語学 (English Linguistics 2)																	
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員													
選択	2	4	教育学部 平成31年度以前入学生 用			氏名 橋本美喜男 E-mail mikioha@oita-u.ac.jp 内線 7578													
授業の概要	本講義では、認知言語学の考え方や基本的概念を学習し、学生が持っていると思われる否定的な文法概念を覆し、新しい文法観に基づいた英語教育指導が可能になる基礎を学生は作る。																		
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
目標1	この認知言語学の基本的考え方と道具だての理解を深め、小学生等を指導するときに役立てることが出来るようにしたい。																		
目標2																			
目標3																			
目標4																			
目標5																			
目標6																			
目標7																			
目標8																			
目標9																			
目標10																			
授業の内容																			
1	認知言語学とは																		
2	伝統的な意味論研究について																		
3	構造主義と生成文法の意味論																		
4	認知言語学の意味分析																		
5	身体的基盤と言葉の意味																		
6	カテゴリー化について																		
7	図と地の分化																		
8	パースペクティブについて																		
9	概念メタファーについて																		
10	メトニミ - について																		
11	イメージスキーマについて																		
12	主体化について																		
13	文法化と意味拡張																		
14	概念化に基づく名詞の意味分析																		
15	概念化に基づく動詞の意味分析																		
ラーニング	A:知識の定着・確認	毎回小テストを行う。					工夫 その 他の	英語の文献を読み、内容を発表する。											
	B:意見の表現・交換																		
	C:応用志向																		
	D:知識の活用・創造																		
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	疑問の思った点を中心に、調査をさせ、理解を深める活動をする。(10h)																	
	事後 学修	もう一歩先の課題を考えさせ、発表させる。(10h)																	
教科書	Moodleを通してプリント等を配布する。																		
参考書	講義中に知らせる。																		
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10							
	毎回の授業中の課題	40%																	
	最終課題	60%																	
注意事項	辞書などを持ってくる。																		
備考																			
リンク																			
	URL																		